

会 議 録（確定稿）

会議名称	第三次西東京市地域福祉活動計画（第13回）策定委員会
日 時	平成26年1月28日（火）午後7時～9時
会 場	田無総合福祉センター2階視聴覚室
出席者	（策定委員） 熊田委員・高橋委員・岩崎委員・陸名委員・尾崎委員・伊佐委員・田谷委員 白倉委員・三輪委員・畠山委員・鶴澤委員・小松委員・田中委員 （事務局） 栗山・齊藤・丸木・鈴木・鶴野・妻屋・長谷川・関根・利光・八阪・廣瀬 （コンサルタント） 田口・渡邊
欠席者	内田委員・土方委員・成田委員・高梨委員
会議次第	<次第> 1. 委員長挨拶 2. 資料確認 <議題> 1. 前回会議録確認 2. 具体的活動内容～アクションプランの落とし込みについて（グループワーク） 3. その他 ・策定委員会臨時開催予定について
配付資料	<事前配付資料> 資料1：第12回策定委員会会議録（未定稿） 資料2：今後の計画検討の流れ 資料3：第三次地域福祉活動計画の体系（案） 資料4：グループワーク資料 <確定稿会議録>：第11回策定委員会確定稿会議録
結 論	◆決定事項 1. 前回会議録は、確定稿とする。 2. グループワークで討議した「具体的な活動内容」については、各グループより発表を行った。2月に継続して話し合いを行う。 3. 2月12日に策定委員会を臨時開催する。
	<次第> 事務局より、開会の挨拶に続いて、欠席委員の報告を行った。 1.委員長挨拶 委員長：1月末を迎え、西東京市地域福祉活動計画策定に関して、いよいよ大詰め の段階に至っている。2月は変則的な形で委員会の開催を予定してい

る。お力添えをいただければと思う。本日は、アクションプランへの落とし込みを行う作業を議題としている。グループワークの中で委員の皆様にご検討いただきたい。

2.資料確認

事務局より、当日の資料確認が行われた。うち、資料4の内訳が資料4-1～4-4であることを説明した。

<議題>

1. 前回会議録確認

委員長：事前配付の第12回策定委員会会議録に関して、お気づきの点や修正点があればご指摘いただきたい。

(委員からは特に無し。)

委員長：特に指摘箇所がなければ、確定稿とする。

2. 具体的活動内容～アクションプランの落とし込みについて（グループワーク）

委員長：地域福祉活動計画の策定にあたり、現在、各班で決定した柱に基づき「具体的な活動内容」を検討している段階である。「具体的な活動内容」については、そろそろ固めなければならない。本日は、じっくり討議ができるように、時間配分をグループワークに多く充てる予定である。

事務局より、資料3を用いて、第13回は「具体的な活動内容」の項目を決めること、グループワークの時間配分に関する説明を行った。

～～～グループ討議～～～

グループ討議の結果発表

[A班]

委員：基本目標1「“おたがいさま”が活きているまち」について、(1)「楽しく教えたり、教わったりするきっかけをつくる」ために、『地域のスカウトキャラバン隊』をつくる」という「具体的な活動」が必要なのではないかと考えた。この活動を通して、地域に埋もれている人材を発掘し、表舞台に出てきてもらうことを意図している。これを達成させるには、西東京市社協が有するつながり、あるいは公民館等で活躍している人、その他地域において能力のある人に対して、推薦を行う必要がある。そこで、地域のキャラバン隊がそのような人を説得し、表舞台に引き出すことを提案する。(2)「世代間の交流のきっかけをつくる」という「具体的な取り組み」については、西東京市の食文化は粉文化であることからヒントを得られると考えた。西東京市はうどんと団子が名物であり、現在でも季節のうどんがあったり、地域の行事で提供されたりしている。この文化を改めて復活させれば、高齢者にもなつかしく感じてもらえるとともに、高齢者自らが腕をふるってくれることが期待できる。これをきっかけに交流を深めることができればと思う。(3)「困った時に、

自ら得た情報で動く」という「具体的な取り組み」については、「防災」に関わる活動内容を考えている。具体的には、独自に「防災マップ」を作ることを検討する。つまり、地域の住民が使用できるような「防災マップ」作りを目指す。自分たちが、歩いて得た情報であることがポイントである。生活圏の中で自分の気をつけるべき箇所や災害時の避難所への近道等については、住民一人ひとりが把握しているという点から、自らマップづくりに関わってもらえると良いのではないか、という意見が出された。

[B 班]

委員：基本目標 2「みんな笑顔でくらせるまち」については、「さまざまな団体をあつめて企画ができるように、環境整備をする」ことを「具体的な活動内容」とする。多様な団体が活動する中で、企画が散発しており、活動団体の活動効果が発揮できていないという現状が見受けられる。例えば、「福祉祭り」については、以前は活発であったものが徐々に活動が縮小してしまった印象を受ける。これに対し、「こそだてフェスタ」等については「良かった」という声が多く聞かれた。そこで、これらのイベントを開催する際、例えば「こそだてフェスタ」が主催である場合でも、他の団体が主催者の活動を理解した上で支援するという形で行ったらどうか、という意見が出た。そうすれば、集客、人材発掘についての効果が大きくなるのではないかと思う。様々な団体が集まるようなイベントの開催に向けて、環境を整備する必要がある。基本目標 3『「一歩前へ」を後押しできる情報があるまち』については、「具体的な活動内容」として、アナログの部分で「回覧板の再活用」をすることと、デジタルの部分で「西東京市 F B（フェイスブック）の活用」が挙げられた。「回覧板の再活用」に関しては、今後、実現に向けた具体的な活動内容をさらに検討することが求められる。

事務局：基本目標 2 については「具体的な取り組み内容」が 2 つ立てられているが、「具体的な活動内容」は 1 つに集約されるのか。

委員：グループワークを通して決定した「具体的な活動内容」は、2 つの「具体的な取り組み内容」を兼ねている。

[C 班]

事務局：基本目標 4「家族のようなつながりのあるまち」については、「具体的な活動内容」を「具体的な取り組み」と入れ替えるという意見が前回のグループワークの中で出された。その方向で進めることで検討を行った。本日出された意見については、文言を整えた上で、次回以降、「アクションプラン」への落とし込みを行う予定である。「具体的な取り組み」として掲げる「人を思いやる気持ちをもてる人を増やす」については、「誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる」こと、及び「お世話焼きさんグループをつくる」を「具体的な活動内容」とする。つまり、「場所」と「人」をつくるような活動内容としたい。また、基本目標 5「一人ひとりがイキイキできるまち～輝こうスキップしよう！～」については、「人が認められる場をつくる」という「具体的な取り組み」に基づき、「人の良いところを見つける活動をする」という「具体的な活動内容」を掲げるのではどうかという意見が挙がった。光を当てることで初めて自分の良さに気づくことがある。褒められると人は輝くという点に焦点をあて、今後は活動内容を具体的に決めていきたい。

	委員長：各班で魅力的な活動内容が出されたように思える。次回については2月12日に継続審議を行う。本日出された検討内容については、事務局で調整を行った上で、資料を作成する。資料に関しては議論の際に委員の方にご確認いただきたい。 3. その他 事務局より、次回の委員会開催について告知を行った。 ・次回委員会日程 第14回(臨時)策定委員会：平成26年2月12日(水)午後7時～ 田無総合福祉センター3階第一会議室 第15回策定委員会：平成26年2月25日(火)午後7時～ 田無総合福祉センター2階視聴覚室 以上
--	---